

編集 後記

新年度を迎え、会員の皆様には、新たな気持ちで仕事に着手していらっしゃる方が多いのではないのでしょうか。今月号も読み応えのある論文が掲載されております。

原著2編は東日本大震災に関連した論文です。1編目の論文では震災に起因する身体的外傷がたとえ軽症であっても1年後の心理的苦痛と関連するという結果が示されています。2編目の論文では、岩手県、宮城県、福島県において震災後2年の期間では自殺死亡の有意な増加は認められないということを明らかにしています。本年3月には東日本大震災から7年、4月には熊本地震から2年が経過しました。震災後の長期にわたる健康影響は不明な点が多いと思われ、引き続き本誌においても新たな知見が示されることが期待されます。資料の1編目は保健所長をはじめとした公衆衛生医師の方々による報告です。ベトナムにおける非感染性疾患（NCDs）予防対策について意見交換した内容が報告されています。日本の地域保健活動の歴史を踏まえた提言は現地でNCDs予防対策を検討するにあたり大変参考になるのではないのでしょうか。資料の2編目はDPCデータの大規模なコホート研究の発症登録への利用可能性について検討した論文です。医療機関を対象に検討された内容ですが、考察にも記載があるように今後は地域ベースでの利用可能性の検討が期待されるところです。

会員の皆様の研究成果や活動内容を多くの方々に知って頂くためにも、本誌へのご投稿を是非お願い申し上げます。
(上原里程)

次号予告（第65巻・第5号）

原著

沖縄県農村地域在住の自立高齢者における幸福感と3年後の生存との関連……………児玉小百合，他
北海道の二次医療圏を単位とした死亡率，栄養摂取状況の地域差の実態とその関連の検討……………岸 知子，他
本人通知制度の実態と住民票を用いた予後調査への影響の検討……………永井亜貴子，他
東京都の民生委員の活動継続意欲を促進・阻害する要因：援助成果，役割ストレス，サポートとの関連……………杉原陽子，他